（様式例オ－１）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 総括表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　科

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 実習施設名 | 当該実習施設を使用する授業科目名 | 実習施設における実習指導者（所属、資格名、臨床経験年数等） | 備考 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |

 |

（注）

○　この様式は、使用する学科ごとに、使用するすべての実習施設についてまとめて記入すること。

○　「実習施設における実習指導者」の欄には、当該実習施設の実習指導者をすべて記入し、本務の所属先、当該指定学校に係る資格名（免許の種類）及び臨床経験（業務従事）年数を記入すること。

○　学校養成施設附属の実習施設の「実習指導者の臨床経験年数等」は、学校養成施設の教諭としての経験年数を記入すること。

　○　使用する実習施設の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。

○　１実習施設について、２以上の授業で使用する場合、「当該実習施設を使用する授業科目名」の欄にすべての授業科目名を一括して記入すること。

　○　実習施設における実習指導者が、養成しようとする資格に係る免許を有していない場合（一人でも免許を有していない実習指導者がいる場合も含む）は、①学校等の実習指導体制及び②その実習指導者が実習目的に照らして適切であることを説明する書類を添付すること。（様式自由）

（様式例オ－２）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実習施設の概要　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　科

|  |  |
| --- | --- |
| 施設の名称 |  |
| 施設の位置 |  |
| 設置者等 |  | 管理者 |  |
| 設置年月日 |  |
| ベッド数 |  |
| 最近の患者数等 |  |
| 学校からの距離等 | 距離 | 交通機関 | 片道所要時間 |
|  |  |  |
| 前年度の実習生受入状況 | 学校名等 | 年間受入延人数（実数） |
|  |  |

 |

（注）

○　この様式は、使用する学科ごとに、使用するすべての実習施設について記入するものとする。

○　実習施設が複数にわたる場合は施設別に記載すること。

○　「最近の患者数等」の欄は、最近１年間（申請書提出時の前年度）の施術を受けた者の数を記入すること。（あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師学校にあっては、最近１年間にあん摩、マッサージ若しくは指圧、はり又はきゅうの施術を受けた者の数。柔道整復師学校にあたっては、最近１年間に柔道整復の施術を受けた者の数）

○　「学校等からの距離等」の欄には、当該申請校からの公共交通機関等を利用した場合の距離等を記入する。

○　「実習生受入状況」の欄には、申請時の前年度における当該実習施設の年間の受入れ学校名及び受入れ延人数、（　　）内には実数を記入すること。（学校等数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。）

○　実習施設の変更届出の場合には、変更後に新規に使用する実習施設についてのみ作成すること。

○　学校養成施設附属の実習施設の場合は、「学校からの距離等」の記入は不要。

（様式例オ－３）

|  |
| --- |
| 承　諾　書（学校名）（学部、学科等名）の実習施設として、（使用開始年月日）より（当該実習施設名）を使用することを承諾します。平成　　年　　月　　日承諾に際して付した条件開設者又は長の職名・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　印（当該申請に係る設置者名）殿 |

（注）

○　この様式は、使用する学科ごとの実習施設すべてについて記入するものとする。ただし、二以上の施設で開設者等が同一の場合は、「当該実習施設名」を併記しても差し支えない。

○　（使用開始年月日）には、実際に実習施設として使用を開始する時期を記入すること。

○　「開設者又は長の職名・氏名」の欄には、管理者と開設者が異なる場合は、管理者として差し支えない。なお、「印」は、本人の署名をもって代えることができる。

○　受入学生数の上限等、承諾に際して条件を付した場合には、その旨本様式に付記すること。

○　実習施設の変更届出の場合には、変更後に新規に使用する実習施設についてのみ作成すること。

○　原本の写しを添付する場合は、設置者が原本証明すること。なお、一括して設置者の原本証明をすることができる。